

# 対応すべき課題及び取り組みの方向性

資料1-3

(導入すべき都市機能を実現し、持続的に発展させていくための課題)

	ハード面	ソフト面
交流促進機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・交流促進機能をもつ都市開発の促進 ⇒ 機運醸成、開発者の意図の共有、 開発促進手法の活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・イノベーション、経済開発、ベンチャー育成</li><li>・サービス(グローバル対応、ストレスフリー)</li><li>・人材育成、人材活用 ⇒ 開発者、利用者、新規事業者との関係性構築</li></ul>
交通結節機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路・鉄道整備及び交通広場の再編 ⇒ 関係事業の連携・共有による最適性</li><li>・新しい交通システム・技術の導入 ⇒ 実証事業(自動運転、顔認証など)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者目線でのわかりやすさ</li><li>・地域の回遊性の向上(MaaS) ⇒ 新規事業者進出促進と、関係性構築 事業者の連携</li></ul>
都市空間機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・オープンスペースの確保</li><li>・空間の高質化となつかしさ・界隈性の維持</li><li>・まちの面的な広がり(グランド・デッキレベル でのまちの広がり) ⇒ 公共事業と民間開発の連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・段階に応じた連携(整備案の作成、整備 空間の活用、維持・更新) ⇒ 多様な官民の連携組織</li></ul>
全体	<ul style="list-style-type: none"><li>・新大阪の取り組みを広く知ってもらうための取り組み ⇒ プロモーションの実施</li><li>・ハード・ソフトの開発プロジェクト組成に向けた検討の推進</li><li>・民間活力の導入 ⇒ 関連事業者や学識経験者との意見交換など (自立したまちづくり組織への発展)</li></ul>	